

|   |           |                            |       |
|---|-----------|----------------------------|-------|
| 研究課題 (テーマ)  |           | 企業人や研究者の特別講義による学生のキャリア形成支援 |       |
| 研究者   | 所属学科等     | 職                          | 氏名    |
| 代表者   | 知能ロボット工学科 | 教授                         | 松本 公久 |
| 研究結果の概要   |           |                            |       |
| <p>「企業経営概論」において、企業や官庁で活躍されている方々を講師として招き、世の中の動きや経験、社会人になる前に身につけておくべき重要事項を講義していただいた。また、「知能ロボット工学特別講義1」等において、学外の著名な学者や新しく注目されている分野で活躍中の研究者など、主に他大学の教員や各種研究機関の研究者を招いて講義をしていただいた。これらを通じて、本学科の専門科目を取得しただけでは不十分な分野についての技術動向を学習し、学生自身のキャリアの確立、職業観形成を助けることを目指した。また、学科名称に「ロボット」を冠していることから、学部生および院生に対して、ロボットに関連する企業について考える機会を提供した。</p> <p>2年次後期の「知能ロボット特別講義1」に4名、3年次後期の「企業経営概論」に26名が履修した。また、3年次後期に開講し、富山県機電工業会と連携して実施している「キャリアアップ特別講義」の履修者が60名であった。今後の開発研究職に関わるキャリアプランだけでなく、企業経営層や実際に県内企業で働いている企業人のキャリアに関する考え方を伝える機会となった。</p> <p>また、大学院への進学志願者数は34名（入学者31名）と定員を大きく超えており、さらなる学習や大学院進学への意欲は既に高いことが分かる。次年度以降もそれが維持されることが期待できる。実際、1月にR7年度卒業予定者が回答した進路アンケートでは、70人中32人がほぼ進学するつもりと回答した。</p> |           |                            |       |
| 今後の展開   |           |                            |       |
| <p>新カリキュラム以降のため、特別講義1は開講されないが、同様に企業経営概論や特別講義2による取り組みを続ける。新カリキュラム移行後は、キャリアアップ特別講義と知能ロボット工学特別講義にて、同様に続ける。</p>   |           |                            |       |